

2021年(令和3年)11月29日

付着物除去へ2キロ超洗管

高杉商事 青梅市内でアイスピグ

アイスピグ関東地域協
会委員の高杉商事(本社
川小平市)は7月末から
8月末にかけて、東京都
水道局から受注した青梅
市内の配水小管(タクタ

イル鑄鉄管の100×2
143管)を対象とする
アイスピグ管内洗浄工法
による洗管作業を7区間
に分けて行った。
洗管した管路は成木浄



排出口近くにアクリル管を設置

水所(日量1
58立方
膜ろ過)から
の配水小管。
この浄水所の
原水は鉄やマ
ンガンを含ん
だ伏流水で、
それらのわず
かな流出が積
み重なること
での堆積や内
面への付着が
懸念されてい

た。
管内の付着物は、水圧
や流速、流向の変化など
に伴い濁水を引き起こす
恐れがある。そこで洗浄
による除去を図るため、
水配への影響や作業時間
を考慮してアイスピグ工
法が採用された。なお、
東京都水道局による同工
法の施工は昨年度の千代
田区内に続いて2例目と
なった。

今回の作業では、洗浄
距離が2キロ以上と長い
ことから、施工は約19
0管から約410管まで
の7区間に分け、数日ご
とに夜間施工を行った。
アイスピグ工法ではマ



色で効果を確認

イナス5度前後の特殊ア
イスシャベットを使用
する。今回は真夏の施工
ということで、シャベ
ットの増量で品質を確
保。いずれの区間でも6
・6トを使用し、管内で
長さ約840管のアイス
ピグを形成、散水車から
の送水で押し流した。
注入口・排出口には既
存の空気弁・消火栓・排
水栓などを使った。洗浄

自体の所要時間は各区間
とも1時間以内で終了
し、配水に大きな影響は
なかった。シャベットの
は最初に排出されたもの
は薄茶色であったが、時
間が経つにつれて透明な
ものが排出され、洗浄効
果が確認された。